

# 指導主事訪問（美術）

令和2年6月10日（水）

秋田県教育庁南教育事務所雄勝出張所指導主事 高橋 聖子先生 をお迎えして



時間帯	内容	担当教員	場所
13:35～15:25	1年A組「美術」 研究授業	授業者 田中 真二郎	美術室
15:45～16:35	研究協議	田中，高橋，島田，佐藤智 栗山，教頭，校長	ミーティング ルーム





# 研究協議会について

令和2年6月10日（水）

15：45～16：35

ミーティングルーム

【美術】

司会：栗山 記録：佐藤智

・研究協議次第

1 指導者紹介

2 研究協議

（1）授業者から 5分

（2）授業についての協議 30分

（3）指導助言 15分

・授業参観・研究協議の視点

1 めあてに対して造形的な特徴を捉えながら作者の心情や表現の意図などの工夫について考え、知識及び技能を活用しながら描画する姿が見られたか。

2 生徒が自分の考えや思いを深めたり、新たな考えをもったりする姿が見られたか。

・指導者 高橋 聖子 指導主事

・参加者

授業者 田中 真二郎

校長，教頭，栗山，佐藤智，島田，高橋

# 第1学年A組 美術科学習指導案

場 所 美術室  
指導者 教諭 田中 真二郎

## 1 題材名 「もしもあなたが画家〇〇ならリンゴをどう描く？」

### 2 題材の目標

- ・画家の筆遣いや色彩構図など、造形的な特徴を基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。([共通事項]) 【知識・技能】
- ・画家それぞれの見方や感じ方、表現方法など造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして美意識を高め、見方や感じ方を深める。 【思考・判断・表現】
- ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に美術作品や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。([B鑑賞](1)) 【学びに向かう力人間性等】

### 3 題材について (全4時間)

この題材は鑑賞の学習活動である。題材の前半では多くの画集から気になる作家または作品を見つけ、その作品の未来を想像しながら鑑賞を行う。第一印象からはじまりじっくりと隅々まで鑑賞し友達に作品について説明をしたり、友達の感じ方を聞いたり見方や感じ方を広げる。本時ではさらにその鑑賞を深めるために画家になりきって絵を描き、実感的な理解を伴いながら画家の作風や心情、創造的な工夫について考える授業を実施する。描くモチーフを「りんご」に限定することで画家それぞれの表し方で多様な表現方法があることを実感することになると期待している。

また、選んだ画家の表現方法を模倣し、各種描画材料を自ら選択して描くことになる。これまでは水彩絵具パステルクレヨンなどを使用してきたが、今回新たにモデリングペーストなども使うことで、盛り上がりのある油絵のような作品も再現できる。ここでは鑑賞の評価しか行わないが創造的な技能の面で資質・能力が高まることも期待できる。

「作者の心情や意図」について意識的に考えることは、表現する授業の際の発想や構想において関連する資質・能力である。美術科では造形的な視点を基にして鑑賞するが、自分なりの見方や考え方を生み出す学習は、他の教科の学習でも生きてくるものであると考える。

### 4 本題材の評価規準

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
知 画家の筆遣いや色彩構図など、造形的な特徴を基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	鑑 画家それぞれの見方や感じ方、表現方法など造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に美術作品や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

- ・題材の前半では〔共通事項〕(1)ア「形や色彩材料光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解すること」を目的として授業を行い、後半ではイ「造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること」に焦点を当てて授業を行う。

### 5 本時の学習 (本時3・4/4時間)

#### (1) 本時のねらい 【鑑賞ア(ア)共通事項イ】

画家の描き方などの造形的な特徴を捉えながら作者の心情や表現の意図などの工夫について考え、見方や感じ方を深める。

(2) 学習過程

段階	学習活動	形態	○指導上の留意点 ■努力を要する生徒への支援	評価規準 □評価の観点 【評価の方法】 ・具体的な生徒の姿
つかむ 5	1 本時のめあてを確認し、見通しをもつ。	全体	○前時に学習した内容を確認する。プレゼンテーションソフトを使って分かりやすく示し、意欲を高める。	
あなたが画家○○ならりんごをどのように描くだろう？				
広げる 20	2 選んだ画家の画集を鑑賞しどのように描くか(描画 材料構図等)を考える。 ONE タイム	個人	○お気に入りの画家について視点を 知 与えもう一度画集を見てもらう。 (表現の変遷, 画家の作風など)  ■思うように発想できない生徒には個別に助言するとともに, アドバイスシートを渡して考えさせることで発想できるようにする。	知 画家の筆遣いや色彩構図など造形的な特徴を基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【活動の様子・美術ノートの記述】 ・筆遣いのスピードや色彩の好み, モチーフの偏り, 構図の特徴などについて発見したことをつぶやいたりメモしたりしている。 ・年代によって変わる作品など自分なりの解釈で作品を捉えようとしている。
深める 70	3 画用紙に下絵を描き色を塗る。 ・画家の表現方法に似せて描画材料を選択し試す。  ・描きながら作者の心情や表現の意図を考える。	個人	○この時間で完成させるために画用紙の大きさはB6程度とする。 ○描画材料の使い方やサンプルなどを用意し, 気軽に試すことができるようにするとともに, 主体的に構想できるようにする。 ○作者の心情や意図, 工夫などについて機間指導をしながら, 意識的に考えさせ, 下絵を描かせる。 ■思うように表現できない生徒には個別に例を示して, 表現できるようにする。(本来は仲間同士で学び合いをさせ課題を解決させる。)	鑑 画家それぞれの見方や感じ方表現方法など造形的なよさや美しさを感じ取り, 作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして美意識を高め見方や感じ方を深めている。 【発話・メモ・作品表・活動の様子】 ・作品を描きながら色彩や描き方などの「問い」をもっている。 ・何度も画集を見ながら細部まで鑑賞している。 ・作家のタッチや色彩から心情を読み取っている。
	4 作品をプレゼンテーションする。 ・作品表に書いたコメントに基づいて画家になりきって発表する。(作者の心情とその意図など) ONE チーム	全体	○何人かに発表してもらい, 全体で学びを共有できるようにする。 ○作家の作品を初めに見せ, その作家がどのようなりんごを描くか想像させる。次に, 数人に想像したことを発表させることで, 自分と見方や感じ方の違いを強調させる。(個の感じ方とその他の生徒の感じ方の違いを実感的に理解させる。)	
振り返る 5	5 本時の学習を振り返る。 ・本時で得た気づき【GET】について考え作品表に記入する。その他に書ける生徒は【NICE】, 【TRY】についても書く。	個人	○【GET】に関しては, 振り返りの視点を具体的に示す。自分で描きながら考えたこと, さらに友達作品やコメントから得たことの二つから書いてもらう。	態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい, 主体的に美術作品や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【活動の様子】
	(授業外: 題材の終了後)		知 画家の筆遣いや色彩構図など造形的な特徴を基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているかどうか評価する。  鑑 画家それぞれの見方や感じ方, 表現方法など造形的なよさや美しさを感じ取り, 作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして美意識を高め, 見方や感じ方を深めているかどうか評価する。	【作品, 作品表】 【作品表, 美術ノート】

ONE タイム: 自力思考の時間

ONE チーム: 学級全体で考えを共有したり考えたりする時間

【GET】: 何が分かったか, できるようになったか 【NICE】: よかった活動や人, がんばったことは何か

【TRY】: 次の授業につながる疑問ややってみようと思ったことは何か

# 校舎配置図

